

# 2024年3月期 決算補足資料

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1. 決算概観（連結）                | P.2     |
| 2. 業績（連結）のポイント             | P.3     |
| 3. 業績（連結）の状況               | P.4     |
| 4. 主要製品の状況                 | P.5     |
| 5. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結） | P.6     |
| 6. 開発品一覧                   | P.7～9   |
| 7. 2025年3月期 連結業績予想         | P.10    |
| 【参考資料】                     |         |
| 8. 損益計算書の概要（連結）            | P.12～13 |
| 9. 貸借対照表の概要（連結）            | P.14    |
| 10. 主な業績項目の推移（連結）          | P.15    |
| 11. 杏林製薬資料                 | P.16～19 |

2024年5月10日  
杏林製薬株式会社



## ■ 将来の見通しに関する注意事項

本資料には、当社グループに関する業績見通しや目標・計画等、将来に関する事項が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において入手可能な情報や予測に基づく、当社グループの仮定や見通し等の判断によるものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しております。したがって、その後発生した種々の要因により、実際の業績や開発品の進捗・成否、その他の見通し等が記述内容と大きく異なる可能性があります。また医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その記述は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

# 2024年3月期 決算概観（連結）



（単位：百万円）	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	対前期 （%）	25年3月期 （予想）	対前期 （%）
売上高	102,904	105,534	113,270	<b>119,532</b>	+5.5	<b>123,400</b>	+3.2
営業利益	5,786	5,007	5,123	<b>6,013</b>	+17.4	<b>6,500</b>	+8.1
経常利益	6,447	5,569	5,827	<b>6,602</b>	+13.3	<b>6,900</b>	+4.5
親会社株主に帰属する当期純利益	6,130	3,932	4,723	<b>5,322</b>	+12.7	<b>5,000</b>	-6.1
1株当たりの当期純利益（円）	106.99円	68.62円	82.44円	<b>92.74円</b>	+12.5	<b>87.03円</b>	-6.2
総資産	167,126	171,924	176,045	<b>177,679</b>	+0.9	—	—
純資産	124,661	124,507	125,461	<b>130,783</b>	+4.2	—	—

## 24年3月期 連結業績（実績）

【売上高】 薬価改定の影響はあったものの、積極的な新薬の普及最大化に努め、主力製品「ベオーバ」、「ラスビック」、「リフヌア」等が伸長し、新医薬品等（国内）の売り上げは前期を大幅に上回る実績となりました。一方、後発医薬品の売り上げは減少しましたが、全体の売上高は1,195億32百万円と前期比62億62百万円の増収となりました。

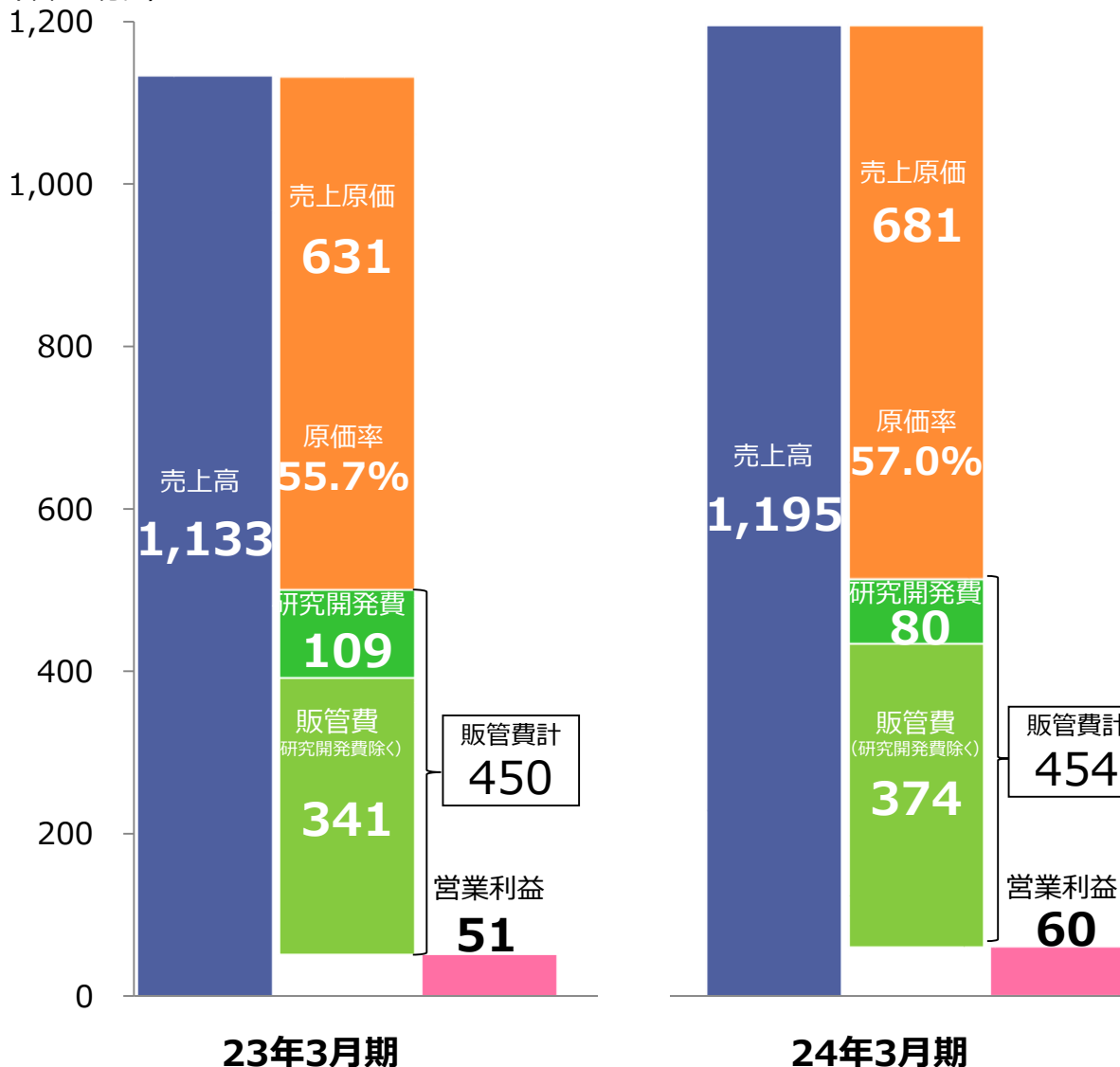
【利益】 売上拡大により売上総利益は514億8百万円と前期に対して12億40百万円増加しました。他方、販売費及び一般管理費は3億50百万円増加（うち、研究開発費は28億84百万円減少）した結果、営業利益は60億13百万円と前期比8億90百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益として14億4百万円を、特別損失として9億87百万円を計上した結果、53億22百万円と前期比5億98百万円の増益となりました。

## 25年3月期 連結業績（予想）

売上高は、薬価改定の影響はあるものの、新薬である「ベオーバ」、「ラスビック」、「リフヌア」等の伸長により、新医薬品等（国内）の売上増加を予想するとともに、後発医薬品についても売上増加を見込みます。これらのことから、全体の売上高は増収を見込みます。利益面では、増収により売上総利益は増加を見込み、販売費及び一般管理費（研究開発費含む）は横ばいを予想することから、営業利益は増益を見込みます。これらの結果、売上高は1,234億円（前期比3.2%増）、営業利益は65億円（前期比8.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は50億円（前期比6.1%減）を見込みます。

# 2024年3月期 業績（連結）のポイント

(単位：億円)



## 売上高は増加 (+62億円)

- 新医薬品等（国内）の売上増加
- 新薬の伸長（ベオーバ、ラスビック等）
- 長期収載品の増加（キプレス、ムコダイン）

## 売上原価率は 1.3ポイント上昇

【低下要因】

- 新薬（ベオーバ、ラスビック等）の売上増加
- 新薬比率の上昇

【上昇要因】

- 薬価改定の影響（杏林製薬7%台）
- 後発医薬品の影響（廃棄損の発生等）
- 為替変動の影響

## 売上総利益は増加 (+12億円)

### 販管費は 4億円増加

- 研究開発費は 29億円減少
- 導入品の相移行に伴うマイルストーン支払いの反動減
- ActivX解散に伴う減少等
- 販管費（研究開発費除く）は 33億円増加
- 販売費、人件費の増加
- 減価償却費の増加（本社移転に関わる費用等）
- 一般経費の増加（特許等使用料、100周年関連費用等）

## 営業利益は増加 (+9億円)

# 2024年3月期 業績（連結）の状況



(単位：億円)		23年3月期	24年3月期	対前期 (額)	(対前期)	(対予想) 2023年5月11日発表
売上高	1,133	<b>1,195</b>		+62	(+62)	(+33)
新医薬品等(国内)	748	<b>826</b>		+78	(+78)	(+35)
新医薬品(海外)	3	<b>4</b>		+1	(+1)	(0)
後発医薬品	382	<b>366</b>		-16	(-16)	(0)
営業利益	51	<b>60</b>		+9	(+9)	(0)
経常利益	58	<b>66</b>		+8		
親会社株主に帰属する 当期純利益	47	<b>53</b>		+6	(+6)	(+4)

## ■売上高 1,195億円 (+62) (+33)

### ●新医薬品等（国内） 826億円 (+78) (+35)

	23.3	⇒	24.3		
・ベオーバ	129	⇒	181	(+52)	(-8)
・ラスビック	25	⇒	49	(+24)	(+17)
・リフヌア	2	⇒	8	(+6)	(-5)
・デザレックス	85	⇒	89	(+4)	(0)
・フルティフォーム	120	⇒	129	(+9)	(+15)
・ペンタサ	128	⇒	123	(-5)	(+5)
・キプレス	66	⇒	70	(+4)	(+17)
・ムコダイン	35	⇒	42	(+7)	(+12)
・ナゾネックス	25	⇒	20	(-5)	(+8)
・ウリトス	7	⇒	5	(-2)	(+3)

### ●新医薬品（海外） 4億円 (+1) (0)

### ●後発医薬品 366億円 (-16) (0)

薬価改定によるオーソライズド・ジェネリック等の売上減少  
 他社への供給品の売上減少  
 23年度追補収載品の売上寄与

## ■営業利益 60億円 (+9) (0)

●原価率：57.0%（前期：55.7%）  
 【低下要因】新薬（ベオーバ、ラスビック等）の売上増加  
 ・新薬比率の上昇  
 【上昇要因】薬価改定の影響、後発医薬品の影響（廃棄損の発生等）、為替変動の影響

●研究開発費：80億円（前期：109億円）  
 導入品の相移行に伴うマイルストーン支払いの反動減、ActivX解散に伴う減少等

●販管費（研究開発費除く）：374億円（前期：341億円）  
 販売費、人件費、減価償却費（本社移転に関わる費用等）、  
 一般経費（特許等使用料、100周年関連費用等）の増加

## ■親会社株主に帰属する 当期純利益 53億円 (+6) (+4)

特別利益：14億4百万円 投資有価証券売却益9億93百万円等  
 特別損失：9億87百万円 希望退職プログラムに関わる費用8億69百万円等

# 2024年3月期 主要製品の状況

(単位：億円)		20年3月期 (実績)	21年3月期 (実績)	22年3月期 (実績)	23年3月期 (実績)	24年3月期 (実績)	対前期 (額)	対前期 (%)	25年3月期 (予想)
新医薬品等 (国内)	ベオーバ (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	43	73	86	129	181	+52	+40.3	220
	ラスビック (ニューキノロン系抗菌剤)	11	9	18	25	49	+24	+99.5	64
	リフヌア (選択的P2X3受容体拮抗薬/咳嗽治療薬)	—	—	—	2	8	+6	+323.9	15
	デザレックス (アレルギー性疾患治療薬)	26	57	71	85	89	+4	+3.7	96
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	146	133	126	120	129	+9	+7.1	125
	ペントサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	133	128	140	128	123	-5	-4.0	116
	キプレス (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	118	83	84	66	70	+4	+5.9	53
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	58	33	35	35	42	+7	+20.6	43
	ウリトス (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	58	23	13	7	5	-2	-26.4	3
	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	24	21	21	20	19	-1	-6.7	19
	ルビスタ (環境除菌・洗浄剤)	15	20	21	21	15	-6	-25.8	15
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	115	108	122	133	123	-10	-7.7	118
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	28	38	36	47	45	-2	-2.7	43
	イミダフェナシン錠「杏林」 (過活動膀胱治療剤)	—	7	8	7	6	-1	-14.0	5

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

(単位：百万円)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	対前期 (%)	25年3月期 (予想)
研究開発費	10,987	9,703	8,897	10,903	<b>8,019</b>	-26.5	<b>8,500</b>
設備投資	3,590	4,307	3,624	5,252	<b>6,587</b>	+25.4	<b>6,600</b>
減価償却費	3,221	3,564	3,714	3,840	<b>4,290</b>	+11.7	<b>4,500</b>

## 設備投資の詳細（実績／予想）

(単位：億円)	23年3月期	24年3月期	25年3月期 (予想)
工場設備	42	<b>55</b>	<b>51</b>
管理・販売設備	5	<b>5</b>	<b>9</b>
研究用設備	5	<b>5</b>	<b>6</b>

# 開発品一覧① (2024年5月10日現在)

## Ph3 ~ 発売

開発段階		製品名/ 開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph3 (22年9月)	Ph3 (エイタイヤー社 : 米国)	<b>KRP-R120</b>	間質性肺疾患 (肺サルコイドーシス)	エイタイヤー社	融合タンパク製剤であり、Neuropilin-2 受容体 (NRP2)に結合することで過剰な免疫細胞の活性化を抑制する作用を有し、ファースト・イン・クラスの治療薬として肺サルコイドーシス等の炎症疾患への効果が期待される	

## POCプロジェクト (Ph1 ~ Ph2)

開発段階		開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph1 (22年8月)	—	<b>KRP-114VP</b>	過活動膀胱	メルク社	膀胱平滑筋に存在するβ3アドレナリン受容体を選択的に刺激し、膀胱を弛緩させることで蓄尿機能を亢進し、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する	「ベオーバ」の小児への適応拡大
—	Ph1 (21年4月: 英国)	<b>KRP-A218</b>	重症化リスクを有する ライノウイルス感染症	自社	宿主分子を標的とし、体内におけるウイルス増殖を抑制する抗ウイルス薬	



# 開発品一覧②（2024年5月10日現在）

## 導入品の状況

開発段階		開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph2 (19年12月) あすか製薬(株)	—	<b>AKP-009</b>	前立腺肥大症	あすか製薬(株)	新規アンドロゲン受容体モジュレーター作用を有し、前立腺縮小作用に加えて排尿機能改善作用を併せ持つ、新しい前立腺肥大症治療薬として期待される	日本国内における共同開発及び販売等に関する契約を締結（20年9月） 高用量での追加Ph1試験（終了）

追加Ph1の結果を受け、データを再確認するために再度Ph1試験を実施中（あすか製薬）

ファブリー病を対象疾患とするGMACについては開発中止

## 導出品の状況

開発段階	製品名／ 開発コード	導出先	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
Ph3	<b>KRP-203</b>	プリオセラ社	—	自社	S1P受容体アゴニスト	本剤の開発・販売等に要する特許・データ等の知的財産及び原薬等を譲渡（20年9月）

# その他：（2024年5月10日現在）

## DTxの状況

契約先	開発コード	適応症	備考
サスメド	<b>KRP-DT123</b>	耳鳴	耳鼻科領域における治療用アプリの共同研究開発及び販売に関する契約を締結（22年11月） 特定臨床研究開始（23年9月）

# 2025年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)	24年3月期 (実績)	25年3月期 (予想)	対前期 (額)	対前期 (%)
<b>売上高</b>	119,532	<b>123,400</b>	+ 3,868	+ 3.2
新医薬品等（国内）	82,581	<b>84,700</b>	+ 2,119	+ 2.6
新医薬品（海外）	386	<b>400</b>	+ 14	+ 3.6
後発医薬品	36,564	<b>38,200</b>	+ 1,636	+ 4.5
<b>営業利益</b>	6,013	<b>6,500</b>	+ 487	+ 8.1
<b>経常利益</b>	6,602	<b>6,900</b>	+ 298	+ 4.5
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	5,322	<b>5,000</b>	- 322	- 6.1

# 【参考資料】

# 損益計算書の概要 (連結) - ①

(単位：百万円)	23年3月期		24年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
<b>売上高</b>	113,270	100.0%	<b>119,532</b>	100.0%	+5.5	+6,262
新医薬品等 (国内)	74,770	66.0%	<b>82,581</b>	69.1%	+10.4	+7,811
新医薬品 (海外)	308	0.3%	<b>386</b>	0.3%	+25.1	+77
後発医薬品	38,190	33.7%	<b>36,564</b>	30.6%	-4.3	-1,626

## <連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社2社： キョーリン リメディオ(株)  
キョーリン製薬グループ工場(株)  
持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

## <当期のポイント>

(対前期)

■ 売上高	119,532百万円	(+6,262)
● 新医薬品等 (国内)	82,581百万円	(+7,811)
(億円)	23.3	24.3
・ベオーバ	129 ⇒ 181	(+52)
・ラスビック	25 ⇒ 49	(+24)
・リフヌア	2 ⇒ 8	(+6)
・デザレックス	85 ⇒ 89	(+4)
・フルティフォーム	120 ⇒ 129	(+9)
・ペンタサ	128 ⇒ 123	(-5)
・キプレス	66 ⇒ 70	(+4)
・ムコダイン	35 ⇒ 42	(+7)
・ナゾネックス	25 ⇒ 20	(-5)
・ウリトス	7 ⇒ 5	(-2)
● 新医薬品 (海外)	386百万円	(+77)
● 後発医薬品	36,564百万円	(-1,626)
・オーソライズド・ジェネリック等の売上減少		
・他社への供給品の売上減少		
・23年度追補収載品の売上寄与		

# 損益計算書の概要 (連結) - ②

(単位：百万円)	23年3月期		24年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
<b>売上高</b>	113,270	100.0%	<b>119,532</b>	100.0%	+5.5	+6,262
<b>売上原価</b>	63,102	55.7%	<b>68,124</b>	57.0%	+8.0	+5,021
<b>売上総利益</b>	50,167	44.3%	<b>51,408</b>	43.0%	+2.5	+1,240
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	45,043 (10,903)	39.8% (9.6%)	<b>45,394</b> <b>(8,019)</b>	38.0% (6.7%)	+0.8 (-26.5)	+350 -2,884
<b>営業利益</b>	5,123	4.5%	<b>6,013</b>	5.0%	+17.4	+890
営業外収益	799	0.7%	<b>735</b>	0.6%	-8.0	-63
営業外費用	94	0.1%	<b>146</b>	0.1%	+54.9	+52
<b>経常利益</b>	5,827	5.1%	<b>6,602</b>	5.5%	+13.3	+774
特別利益	1,979	1.7%	<b>1,404</b>	1.2%	-29.1	-575
特別損失	900	0.8%	<b>987</b>	0.8%	+9.6	+86
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	6,906	6.1%	<b>7,019</b>	5.9%	+1.6	+112
法人税・住民税 及び事業税	2,462	2.2%	<b>1,897</b>	1.6%	-22.9	-564
法人税等調整額	-279	-0.2%	<b>-200</b>	-0.2%	-	+78
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	4,723	4.2%	<b>5,322</b>	4.5%	+12.7%	+598

## <当期のポイント>

(対前期)

### ◆売上原価率：57.0% (+1.3ポイント)

【低下要因】

・新薬（ベオーバ、ラスビック等）の売上増加

【上昇要因】

・薬価改定の影響（杏林製薬7%台）

・後発医薬品の影響（廃棄損の発生等）

・為替変動の影響

### ◆研究開発費比率：6.7% (-2.9ポイント)

・80億円（前期：109億円）

導入品の相移行に伴うマイルストーン支払いの反動減

ActivX解散に伴う減少等

### ◆販管費比率（研究開発費除く）：31.3%

(+1.2ポイント)

・374億円（前期：341億円）

販売費、人件費、減価償却費の増加

一般経費（特許等使用料等）の増加

### ■営業利益 6,013百万円 (+890百万円)

### ■親会社株主に帰属する当期純利益 5,322百万円 (+598百万円)

・特別利益：14億4百万円

投資有価証券売却益 9億93百万円

・特別損失：9億87百万円

希望退職プログラムに関わる費用 8億69百万円

### ■配当 52円00銭/株（内、中間配当20円/株） 配当性向56.8%

# 貸借対照表の概要 (連結)

(単位：百万円)	23年3月期末		24年3月期末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>119,030</b>	<b>67.6%</b>	<b>119,310</b>	<b>67.1%</b>	<b>+279</b>
現金及び預金	19,394		<b>13,886</b>		
受取手形、売掛金、及び契約資産	47,301		<b>47,741</b>		
有価証券	—	—	<b>99</b>	—	—
棚卸資産	48,026		<b>53,471</b>		
その他	4,307		<b>4,110</b>		
<b>固定資産</b>	<b>57,014</b>	<b>32.4%</b>	<b>58,369</b>	<b>32.9%</b>	<b>+1,355</b>
有形固定資産	25,834		<b>28,950</b>		
無形固定資産	5,393	—	<b>5,088</b>	—	—
投資その他	25,785		<b>24,330</b>		
<b>資産合計</b>	<b>176,045</b>	<b>100.0%</b>	<b>177,679</b>	<b>100.0%</b>	<b>+1,634</b>
<b>流動負債</b>	<b>34,983</b>	<b>19.9%</b>	<b>45,491</b>	<b>25.6%</b>	<b>+10,507</b>
支払手形及び買掛金	13,762		<b>14,265</b>		
その他流動負債	21,221	—	<b>31,226</b>	—	—
<b>固定負債</b>	<b>15,600</b>	<b>8.9%</b>	<b>1,404</b>	<b>0.8%</b>	<b>-14,195</b>
<b>負債合計</b>	<b>50,584</b>	<b>28.7%</b>	<b>46,896</b>	<b>26.4%</b>	<b>-3,687</b>
<b>株主資本</b>	<b>122,182</b>	<b>69.4%</b>	<b>124,877</b>	<b>70.3%</b>	<b>+2,694</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>3,278</b>	<b>1.9%</b>	<b>5,905</b>	<b>3.3%</b>	<b>+2,627</b>
その他有価証券評価差額金	5,695		<b>5,926</b>		
為替換算調整勘定	340	—	<b>—</b>	—	—
退職給付に係る調整累計額	-2,756		<b>-20</b>		
<b>純資産合計</b>	<b>125,461</b>	<b>71.3%</b>	<b>130,783</b>	<b>73.6%</b>	<b>+5,322</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>176,045</b>	<b>100.0%</b>	<b>177,679</b>	<b>100.0</b>	<b>+1,634</b>

## <当期のポイント>

(対前期末)

### ■ 流動資産：279百万円増

- ・現金及び預金の減少 ( -5,508百万円)
- ・受取手形、売掛金、及び契約資産の増加 ( +439百万円)
- ・有価証券の増加 ( +99百万円)
- ・棚卸資産の増加 ( +5,444百万円)
- ・その他の減少 ( -197百万円)

### ■ 固定資産：1,355百万円増

- ・有形固定資産の増加 ( +3,115百万円)
- ・無形固定資産の減少 ( -305百万円)
- ・投資その他の減少 ( -1,454百万円)

### ■ 流動負債：10,507百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加 ( +502百万円)
- ・その他流動負債の増加 ( +10,005百万円)

### ■ 固定負債：14,195百万円減

# 主な業績項目の推移 (連結)

(単位：百万円)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期 (予想)
売上高	109,983	102,904	105,534	113,270	<b>119,532</b>	<b>123,400</b>
(海外売上)	(1,490)	(996)	(1,033)	(308)	<b>(386)</b>	<b>(400)</b>
売上原価	52,950	51,276	56,093	63,102	<b>68,124</b>	—
(売上原価率)	(48.1%)	(49.8%)	(53.2%)	(55.7%)	<b>(57.0%)</b>	—
販売費及び一般管理費	49,528	45,841	44,433	45,043	<b>45,394</b>	—
(販管費率)	(45.0%)	(44.5%)	(42.1%)	(39.8%)	<b>(38.0%)</b>	—
うち研究開発費	10,987	9,703	8,897	10,903	<b>8,019</b>	<b>8,500</b>
(研究開発費率)	(10.0%)	(9.4%)	(8.4%)	(9.6%)	<b>(6.7%)</b>	<b>(6.9%)</b>
営業利益	7,503	5,786	5,007	5,123	<b>6,013</b>	<b>6,500</b>
(営業利益率)	(6.8%)	(5.6%)	(4.7%)	(4.5%)	<b>(5.0%)</b>	<b>(5.3%)</b>
経常利益	8,175	6,447	5,569	5,827	<b>6,602</b>	<b>6,900</b>
(経常利益率)	(7.4%)	(6.3%)	(5.3%)	(5.1%)	<b>(5.5%)</b>	<b>(5.6%)</b>
当期純利益	6,149	6,130	3,932	4,723	<b>5,322</b>	<b>5,000</b>
(当期純利益率)	(5.6%)	(6.0%)	(3.7%)	(4.2%)	<b>(4.5%)</b>	<b>(4.1%)</b>
一株当たり利益	107.35円	106.99円	68.62円	82.44円	<b>92.74円</b>	<b>87.03円</b>
資本金	700	700	700	700	<b>700</b>	—
総資産	171,160	167,126	171,924	176,045	<b>177,679</b>	—
株主資本	118,534	120,339	120,491	122,182	<b>124,877</b>	—
純資産	122,710	124,661	124,507	125,461	<b>130,783</b>	—
一株当たり純資産	2,142.07円	2,175.52円	2,172.83円	2,189.40円	<b>2,276.52円</b>	—
自己資本利益率	5.0%	5.0%	3.2%	3.8%	<b>4.2%</b>	—
自己資本比率	71.7%	74.6%	72.4%	71.3%	<b>73.6%</b>	—
人員	2,271人	2,243人	2,222人	2,138人	<b>2,042人</b>	—
設備投資	3,590	4,307	3,624	5,252	<b>6,587</b>	<b>6,600</b>
減価償却費	3,221	3,564	3,714	3,840	<b>4,290</b>	<b>4,500</b>



# 損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)	23年3月期		24年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
売上高	97,526	100.0%	105,157	100.0%	+7.8	+7,630
新医薬品等 (国内)	72,757	74.6%	81,049	77.1%	+11.4	+8,291
新医薬品 (海外)	112	0.1%	386	0.4%	+242.4	+273
後発医薬品	24,656	25.3%	23,722	22.6%	-3.8	-934

<当期のポイント>		(対前期)	
■売上高	105,157百万円	( +7,630)	
●新医薬品等 (国内)	81,049百万円	( +8,291)	
(億円)	23.3	24.3	
・ベオーバ	129 ⇒	181	( +52)
・ラスピック	25 ⇒	49	( +24)
・リフヌア	2 ⇒	8	( +6)
・デザレックス	85 ⇒	89	( +4)
・フルティフォーム	120 ⇒	129	( +9)
・ペンタサ	128 ⇒	123	( -5)
・キプレス	66 ⇒	70	( +4)
・ムコダイン	35 ⇒	42	( +7)
・ナゾネックス	25 ⇒	20	( -5)
・ウリトス	7 ⇒	5	( -2)
●新医薬品 (海外)	386百万円	( +273)	
●後発医薬品	23,722百万円	( -934)	

・オーソライズド・ジェネリックの売上減少

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは、吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値であり、2024年3月期以降は吸収合併後の当社の数値となっております

# 損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)	23年3月期		24年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
<b>売上高</b>	97,526	100.0%	<b>105,157</b>	100.0%	+7.8	+7,630
<b>売上原価</b>	52,479	53.8%	<b>56,796</b>	54.0%	+8.2	+4,316
<b>売上総利益</b>	45,046	46.2%	<b>48,361</b>	46.0%	+7.4	+3,314
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	40,415 (9,233)	41.4% (9.5%)	<b>41,682</b> <b>(7,088)</b>	39.6% (6.7%)	+3.1 (-23.2%)	+1,267 (-2,144)
<b>営業利益</b>	4,631	4.7%	<b>6,679</b>	6.4%	+44.2%	+2,047
営業外収益	1,158	1.2%	<b>804</b>	0.8%	-30.6%	-354
営業外費用	63	0.1%	<b>66</b>	0.1%	+4.9%	+3
<b>経常利益</b>	5,727	5.9%	<b>7,417</b>	7.1%	+29.5%	+1,690
特別利益	1,710	1.8%	<b>48,537</b>	46.2%	—	+46,826
特別損失	8	0.0%	<b>938</b>	0.9%	—	+929
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	7,429	7.6%	<b>55,016</b>	52.3%	—	+47,587
法人税・住民税 及び事業税	2,296	2.4%	<b>2,046</b>	1.9%	-10.9%	-249
法人税等調整額	-589	-0.6%	<b>-25</b>	-0.0%	—	+564
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	5,722	5.9%	<b>52,995</b>	50.4%	—	+47,272

<当期のポイント>		(対前期)
◆売上原価率：54.0%		(+0.2ポイント)
【低下要因】	・新薬（ペオーバ、ラスビック等）の売上増加	
【上昇要因】	・薬価改定の影響（杏林製薬7%台） ・為替変動の影響	
◆研究開発費率：6.7%		(-2.8ポイント)
・71億円（前期：92億円）	導入品の相移行に伴うマイルストーン支払いの反動減 ActivX解散に伴う減少等	
◆販管費率(研究開発費除く)：32.9%		(+0.9ポイント)
・346億円（前期：312億円）	販売費、人件費、減価償却費の増加	
■営業利益	6,679百万円	(+2,047百万円)
■当期純利益	52,995百万円	(+47,272百万円)
・特別利益：485億37百万円	連結子会社吸収合併による抱合せ株式消滅差益 468億43百万円 投資有価証券売却益 9億69百万円	
・特別損失：9億38百万円	希望退職プログラムに関わる費用8億69百万円	

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは、吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値であり、2024年3月期以降は吸収合併後の当社の数値となっております

# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)	23年3月期末		24年3月期末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	127,987	77.7%	<b>115,164</b>	70.4%	-12,823
現金及び預金	10,881		<b>9,950</b>		
売掛金及び契約資産	40,955		<b>42,451</b>		
有価証券	-	—	<b>99</b>	—	—
棚卸資産	38,842		<b>44,444</b>		
その他	37,308		<b>18,217</b>		
<b>固定資産</b>	36,774	22.3%	<b>48,363</b>	29.6%	+11,589
有形固定資産	6,696		<b>6,741</b>		
無形固定資産	4,340	—	<b>4,920</b>	—	—
投資その他	25,736		<b>36,702</b>		
<b>資産合計</b>	164,761	100.0%	<b>163,527</b>	100.0%	-1,233
<b>流動負債</b>	31,742	19.3%	<b>43,121</b>	26.4%	+11,378
買掛金	13,703		<b>14,245</b>		
その他流動負債	18,038	—	<b>28,875</b>	—	—
<b>固定負債</b>	11,468	7.0%	<b>997</b>	0.6%	-10,470
<b>負債合計</b>	43,210	26.2%	<b>44,118</b>	27.0%	+908
<b>株主資本</b>	115,953	70.4%	<b>113,603</b>	69.5%	-2,350
<b>評価・換算差額等</b>	5,597	3.4%	<b>5,805</b>	3.6%	+208
<b>純資産合計</b>	121,550	73.8%	<b>119,409</b>	73.0%	-2,141
<b>負債及び純資産合計</b>	164,761	100.0%	<b>163,527</b>	100.0%	-1,233

## <当期のポイント>

(対前期末)

### ■ 流動資産：12,823百万円減

- ・ 現金及び預金の減少 ( -930百万円)
- ・ 売掛金及び契約資産の増加 ( +1,496百万円)
- ・ 有価証券の増加 ( +99百万円)
- ・ 棚卸資産の増加 ( +5,601百万円)
- ・ その他の減少 ( -19,091百万円)

### ■ 固定資産：11,589百万円増

- ・ 有形固定資産の増加 ( +44百万円)
- ・ 無形固定資産の増加 ( +580百万円)
- ・ 投資その他の増加 ( +10,965百万円)

### ■ 流動負債：11,378百万円増

- ・ 買掛金の増加 ( +542百万円)
- ・ その他の増加 ( +10,836百万円)

### ■ 固定負債：10,470百万円減

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは、吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値であり、2024年3月期以降は吸収合併後の当社の数値となっております

# 主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期 (予想)
売上高	96,336	89,674	92,010	97,526	<b>105,157</b>	<b>107,800</b>
(海外売上)	(1,260)	(793)	(834)	(112)	<b>(386)</b>	<b>(400)</b>
売上原価	47,339	44,922	48,736	52,479	<b>56,796</b>	—
(売上原価率)	(49.1%)	(50.1%)	(53.0%)	(53.8%)	<b>(54.0%)</b>	—
販売費及び一般管理費	44,675	41,190	40,413	40,415	<b>41,682</b>	—
(販管费率)	(46.4%)	(45.9%)	(43.9%)	(41.4%)	<b>(39.6%)</b>	—
うち研究開発費	10,038	8,719	7,695	9,233	<b>7,088</b>	<b>7,400</b>
(研究開発费率)	(10.4%)	(9.7%)	(8.4%)	(9.5%)	<b>(6.7%)</b>	<b>(6.9%)</b>
営業利益	4,321	3,561	2,859	4,631	<b>6,679</b>	<b>7,000</b>
(営業利益率)	(4.5%)	(4.0%)	(3.1%)	(4.7%)	<b>(6.4%)</b>	<b>(6.5%)</b>
経常利益	5,340	4,546	3,781	5,727	<b>7,417</b>	<b>7,600</b>
(経常利益率)	(5.5%)	(5.1%)	(4.1%)	(5.9%)	<b>(7.1%)</b>	<b>(7.1%)</b>
当期純利益	3,996	4,814	2,620	5,722	<b>52,995</b>	<b>5,500</b>
(当期純利益率)	(4.1%)	(5.4%)	(2.8%)	(5.9%)	<b>(50.4%)</b>	<b>(5.1%)</b>
一株当たり利益	53.82円	64.82円	35.28円	77.06円	<b>923.33円</b>	<b>95.73円</b>
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	<b>700</b>	—
総資産	160,570	156,628	159,980	164,761	<b>163,527</b>	—
株主資本	112,525	113,848	113,052	115,953	<b>113,603</b>	—
純資産	119,405	120,420	119,232	121,550	<b>119,409</b>	—
一株当たり純資産	1,607.77円	1,621.43円	1,605.43円	1,636.65円	<b>2,078.28円</b>	—
自己資本利益率	3.3%	4.0%	2.2%	4.8%	<b>57.5%</b>	—
自己資本比率	74.4%	76.9%	74.5%	73.8%	<b>73.0%</b>	—
人員	1,502人	1,471人	1,441人	1,364人	<b>1,353人</b>	—
設備投資	441	732	627	505	<b>1,108</b>	<b>1,400</b>
減価償却費	1,183	1,391	1,461	1,608	<b>2,410</b>	<b>1,900</b>

※2023年4月1日付で当社の完全子会社であった旧杏林製薬株式会社を吸収合併しました。2023年3月期までは、吸収合併前の旧杏林製薬株式会社の数値であり、2024年3月期以降は吸収合併後の当社の数値となっております